

海の月間イベント 「川崎港を見てもよう！外航船見学会」を実施しました

海の月間にあわせて市内の子どもたちを招待

川崎市では、海の月間※を記念して、令和8年8月6日(木)、市内の子どもたち（川崎区内の小学校3年生から6年生までの児童37人）を対象に、川崎港の外貿ふ頭で荷役を行っている大型の自動車専用船に体験乗船する見学会を実施しました。

この見学会は、将来を担う子どもたちに国際物流の現場を体験してもらうことにより、貿易や海運に対する関心を高めてもらうことをねらいとしています。

※ 「海の月間」（7/1～7/31）には、広く国民に「海」に対する理解と認識を高めてもらうために、全国各地で海に関するさまざまなイベントが行われています。

1 見学会の概要

- （1）実施日 令和8年8月6日(木) 13時10分～15時30分
- （2）参加者 川崎区内の小学校3年生から6年生までの児童37人（引率者除く）
- （3）内 容 自動車専用船「Garnet Leader」に乗船
（日本郵船株式会社様（東京都千代田区丸の内2-3-2）に御協力いただきました。）

2 自動車専用船「Garnet Leader」について

- （1）船 名 Garnet Leader
- （2）建造年 2008年
- （3）全 長 199.98m
- （4）積載可能台数 6,400RT＊
- ＊ 1RT＝車長4.125m×車幅1.550m×車高1.420m
- ＊ RTとは、乗用車1台分の寸法を表した単位



3 見学会の様子

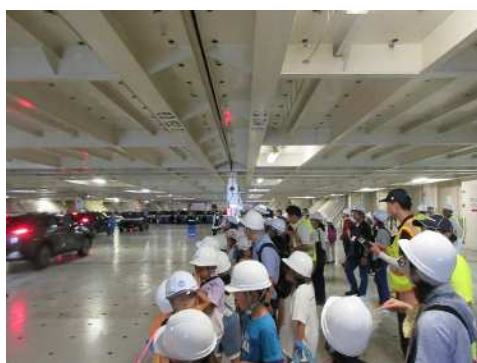
船の前で記念撮影。



荷役※の支障にならないよう、日本郵船(株)の方の説明を聞いて船の中に移動します。
※荷役（にやく）：貨物の積み降ろし作業のこと。



自動車の積み込み作業を見学。



ブリッジでは、船長さんと交流しました。

子どもからの「なんで船員さんになったんですか？」という質問に対して、「お父さんが船乗りで子どもの頃から船に乗って格好いいと思ったから」と答えていただきました。



船長さんに、英語でお礼を伝え、記念品のプリザーブドフラワーを贈りました。



日本郵船(株)の方々に船や船舶の機器について教えていただきました。



子どもたちは、荷役作業の技術を見たり、船長が船乗りになるまでの話や船での生活の話を聞くなど、海の仕事への興味と関心、知識を深めることができました。自動車専用船「Garnet Leader」は川崎港での積み込み後、横浜港を経由して、北米に向けて出港します。

参加した子どもたちは、自動車専用船の見学以外にも、川崎マリエンシアターにて、関東運輸局川崎海事事務所の御協力のもと、海の仕事についての講義を受けました。



4 川崎港の概要

川崎港は「国際戦略港湾（国際競争力の強化を重点的に図る必要がある港湾で、国内では、東京港、横浜港、川崎港、大阪港、神戸港の5港）」に指定されています。

令和7年の輸出額1兆3,201億74百万円、輸入額2兆8,058億54百万円です。取扱貨物は主にLNG、原油などの燃料のほか、完成自動車などがあります。

5 完成自動車の輸出について

川崎港では、完成自動車（新車および中古車）の輸出量は全体の33.6%（令和7年180万トン）を占めています。（速報値）

主な輸出先はアメリカ（53.9%）、カナダ（26.6%）、ジャマイカ（13.7%）となっております。

問合せ先：川崎市港湾局港湾振興部誘致振興課 渡邊
電 話 044-200-3072 内線 41201